

春季賃金改定に関する結果調査 報告書

	対象数	回答数	回答率
建設業	29	16	55.2%
製造業	51	24	47.1%
卸売業	29	8	27.6%
小売業	28	9	32.1%
合計	137	57	41.6%

調査期間 平成30年4月13日～27日
調査方法 記述式、回答は郵送・ファックス

平成30年5月

柏崎商工会議所

【集計結果の概要】

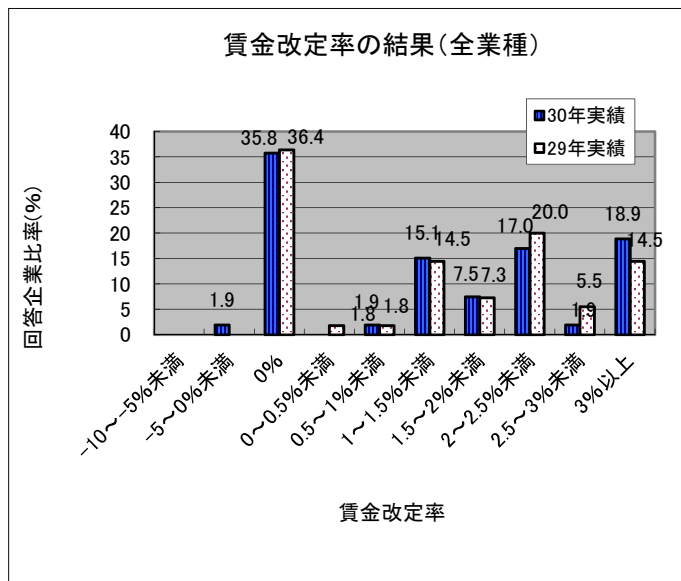
◇平均賃金改定率(全業種)

今年の春季賃金改定結果(定期昇給込)をみると、平均基準内賃金に対して「0%(改定なし)」とする回答が最も多く、35.8%を占めている。次いで、「3%以上」が18.9%、「2~2.5%未満」が17.0%となっている。

昨年実績と比較すると、「3%以上」の増加が目立っている。全体を見ると、「0%(改定なし)」を中心に分散化の傾向となっている。

平均改定額(加重平均) 4,351円

※改定あり、と回答し、実際に改定額を回答した34社を集計



【表1 平均賃金改定率(業種別)上段:30年実績 下段:29年実績】

数字は件数、()内は%

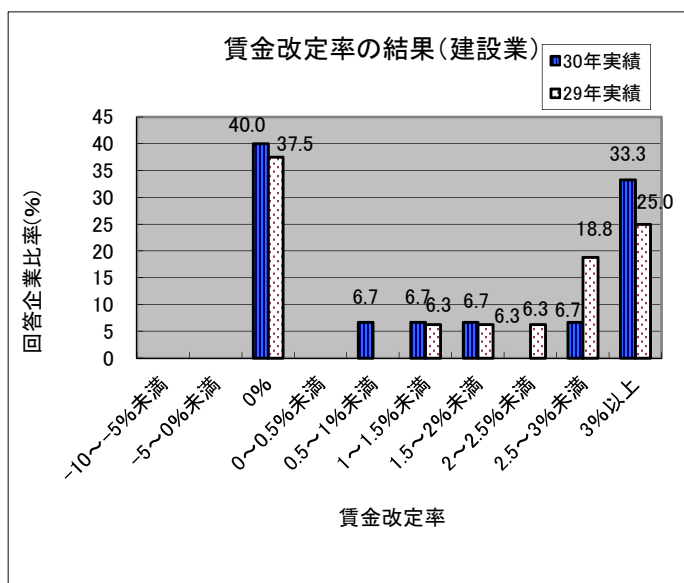
	-10~-5%未満	-5~0%未満	0%	0~0.5%未満	0.5~1%未満	1~1.5%未満	1.5~2%未満	2~2.5%未満	2.5~3%未満	3%以上	合計
建設業	-	-	6(40.0)	-	1(6.7)	1(6.7)	1(6.7)	-	1(6.7)	5(33.3)	15(100)
製造業	-	1(4.3)	5(21.7)	-	-	6(26.1)	2(8.7)	6(26.1)	-	3(13.0)	24(100)
卸売業	-	-	4(57.1)	-	-	-	1(14.3)	-	-	2(28.6)	7(100)
小売業	-	-	4(50.0)	-	-	1(12.5)	-	3(37.5)	-	-	8(100)
合計	-	1(1.9)	17(35.8)	-	1(1.9)	8(15.1)	4(7.5)	9(17.0)	1(1.9)	10(18.9)	53(100)
	-	-	20(36.4)	1(1.8)	-	8(14.5)	4(7.3)	11(20.0)	3(5.5)	8(14.5)	55(100)

◇平均賃金改定率(業種別)

〈建設業〉

「0%(改定なし)」とする回答が40.0%と最も多くなっている。次いで、「3%以上」が33.3%となっている。

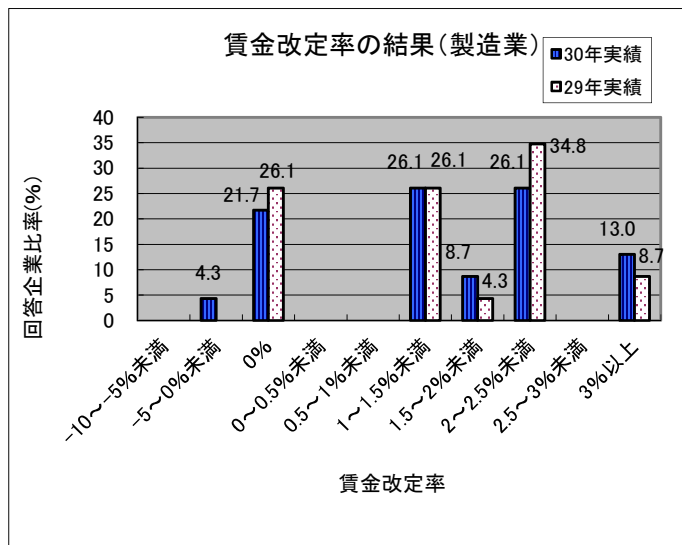
昨年実績と比較すると、「0%(改定なし)」「3%以上」の増加が目立ち、企業間格差が見られる。



〈製造業〉

「1～1.5%未満」「2～2.5%未満」とする回答が同値でそれぞれ、26.1%となっており他業種と比べるとバラつきが見られる。

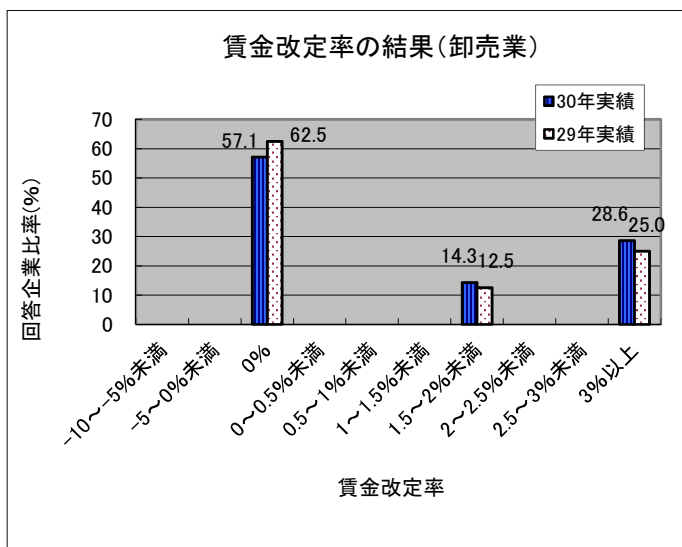
昨年実績と比較すると、「2～2.5%未満」の割合減少が目立っている。



〈卸売業〉

「0%(改定なし)」とする回答が最も多く、57.1%となっている。

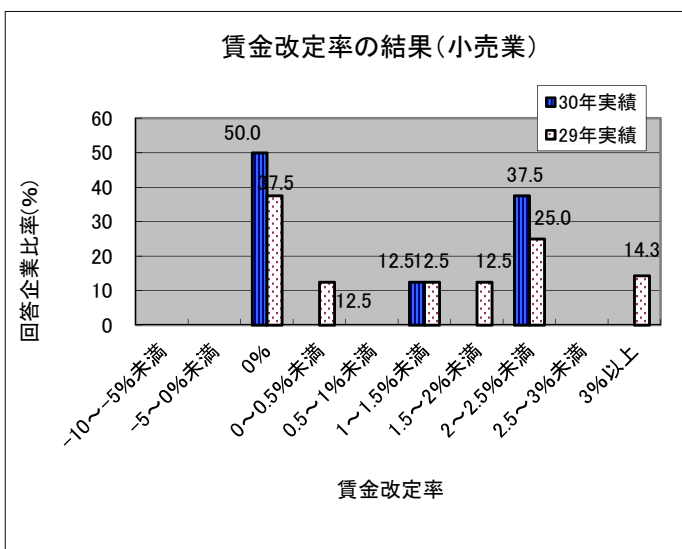
昨年実績と比較すると、昨年とほぼ同様の結果となっている。



〈小売業〉

「0%(改定なし)」とする回答が最も多く、50.0%を占めている。次いで「2～2.5%未満」が37.5%となっている。

昨年実績と比較すると、企業間格差が見られた。



◇平均賃金改定率(規模別)

『1～9名規模』では「0%(改定なし)」とする回答が過半数を超え、『10～19名規模』では「3%以上」が最多で、『20～49名規模』では「0%」「3%」が同数で最多となっている。また、『50～99名規模』では「1.5～2%未満」が最多で、『100名以上規模』においては「2～2.5%未満」がそれぞれ最多となっている。

【表2 平均賃金改定率(規模別) 上段:30年実績 下段:29年実績】

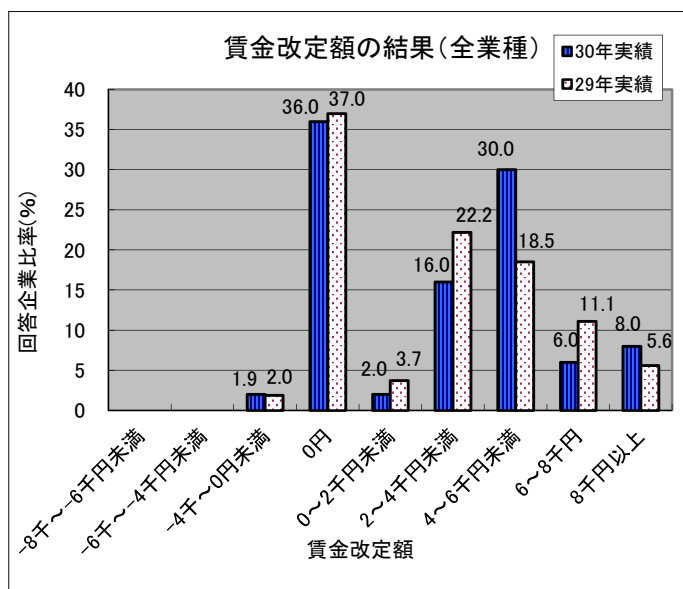
数字は件数、()内は%

	-10～-5%未満	-5～0%未満	0%	0～0.5%未満	0.5～1%未満	1～1.5%未満	1.5～2%未満	2～2.5%未満	2.5～3%未満	3%以上	合計
1～9名	-	1(6.7)	10(66.7)	-	-	3(20.0)	-	-	-	1(6.7)	15(100)
	-	-	11(73.3)	-	-	3(20.0)	1(6.7)	-	-	-	15(100)
10～19名	-	-	2(20.0)	-	-	1(10.0)	-	2(20.0)	1(10.0)	4(40.0)	10(100)
	-	-	2(20.0)	-	-	2(20.0)	-	2(20.0)	2(20.0)	2(20.0)	10(100)
20～49名	-	-	5(31.3)	-	1(6.3)	1(6.3)	2(12.5)	3(18.8)	-	4(25.0)	16(100)
	-	-	4(25.0)	-	1(6.3)	1(6.3)	2(12.5)	3(18.8)	-	5(31.3)	16(100)
50～99名	-	-	1(25.0)	-	-	1(25.0)	2(50.0)	-	-	-	4(100)
	-	-	2(50.0)	-	-	-	1(25.0)	1(25.0)	-	-	4(100)
100名以上	-	-	1(12.5)	-	-	2(25.0)	-	4(50.0)	-	1(12.5)	8(100)
	-	-	-	1(11.1)	-	2(22.2)	-	4(44.4)	1(11.1)	1(11.1)	9(100)
合計	-	1(1.9)	19(35.8)	-	1(1.9)	8(15.1)	4(7.5)	9(17.0)	1(1.9)	10(18.9)	52(100)
	-	-	20(37.0)	1(1.9)	-	8(14.8)	4(7.4)	10(18.5)	3(5.6)	8(14.8)	54(100)

◇平均賃金改定額(全業種)

「0円(改定なし)」が36.0%と最も多く、次いで「4千円～6千円未満」が30.0%となっている。

全体的に昨年同様の傾向となっている。



【表3 平均賃金改定額(業種別) 上段:30年実績 下段:29年実績】

数字は件数、()内は%

	-8千～-6千円未満	-6千～-4千円未満	-4千～0円未満	0円	0～2千円未満	2千～4千円未満	4千～6千円未満	6千～8千円未満	8千円以上	合計
建設業 (46.0歳)	-	-	-	7(50.0)	1(7.1)	1(7.1)	2(14.3)	2(14.3)	1(7.1)	14(100)
	-	-	-	7(43.8)	1(6.3)	-	-	5(31.3)	3(18.8)	16(100)
製造業 (44.9歳)	-	-	1(4.8)	4(19.0)	-	5(23.8)	10(47.6)	-	1(4.8)	21(100)
	-	1(4.3)	-	6(26.1)	-	9(39.1)	7(30.4)	-	-	23(100)
卸売業 (45.1歳)	-	-	-	3(42.9)	-	-	1(14.3)	1(14.3)	2(28.6)	7(100)
	-	-	-	3(42.9)	-	1(14.3)	2(28.6)	1(14.3)	-	7(100)
小売業 (45.3歳)	-	-	-	4(50.0)	-	2(25.0)	2(25.0)	-	-	8(100)
	-	-	-	4(50.0)	1(12.5)	2(25.0)	1(12.5)	-	-	8(100)
合計 (45.3歳)	-	-	1(2.0)	18(36.0)	1(2.0)	8(16.0)	15(30.0)	3(6.0)	4(8.0)	50(100)
	-	1(1.9)	-	20(37.0)	2(3.7)	12(22.2)	10(18.5)	6(11.1)	3(5.6)	54(100)

※業種の下は平均年齢

【表4 平均賃金改定額(業種別)】

	平均賃金改定額	回答数
建設業	¥7,750	8
製造業	¥3,280	18
卸売業	¥5,139	4
小売業	¥3,500	4
全体	¥4,577	34

※改定あり、と回答し、実際に改定額を回答した34社を集計

【表5 平均賃金改定額(規模別)上段:30年実績 下段:29年実績】

数字は件数、()内は%

	-8千~-6千円未満	-6千~-4千円未満	-4千~0円未満	0円	0~2千円未満	2千~4千円未満	4千~6千円未満	6千~8千円未満	8千円以上	合計
1~9名 (48.1歳)	-	-	1(7.1)	8(57.1)	-	3(21.4)	-	1(7.1)	1(7.1)	14(100)
	-	-	-	11(73.3)	-	3(20.0)	-	1(6.7)	-	15(100)
10~19名 (47.8歳)	-	-	-	3(30.0)	-	1(10.0)	3(30.0)	2(20.0)	1(10.0)	10(100)
	-	-	-	3(30.0)	-	3(30.0)	1(10.0)	2(20.0)	1(10.0)	10(100)
20~49名 (42.9歳)	-	-	-	4(28.6)	1(7.1)	2(14.3)	5(35.7)	-	2(14.3)	14(100)
	-	-	-	4(26.7)	1(6.7)	3(20.0)	3(20.0)	2(13.3)	2(13.3)	15(100)
50~99名 (43.8歳)	-	-	-	2(50.0)	-	-	2(50.0)	-	-	4(100)
	-	-	-	2(50.0)	-	1(25.0)	1(25.0)	-	-	4(100)
100名以上 (40.3歳)	-	-	-	1(12.5)	-	2(25.0)	5(62.5)	-	-	8(100)
	-	-	-	-	1(11.1)	2(22.2)	5(55.6)	1(11.1)	-	9(100)
合計 (45.0歳)	-	-	1(2.0)	18(36.0)	1(2.0)	8(16.0)	15(30.0)	3(6.0)	4(8.0)	50(100)
	-	-	-	20(37.1)	2(3.8)	12(22.6)	10(18.9)	6(11.3)	3(5.7)	53(100)

※人数規模の下は平均年齢

【表6 平均賃金改定額(規模別)】

	平均賃金改定額	回答数
1~9名	¥2,700	7
10~19名	¥7,826	7
20~49名	¥4,250	10
50~99名	¥2,882	3
100名以上	¥4,394	7
全体	¥4,577	34

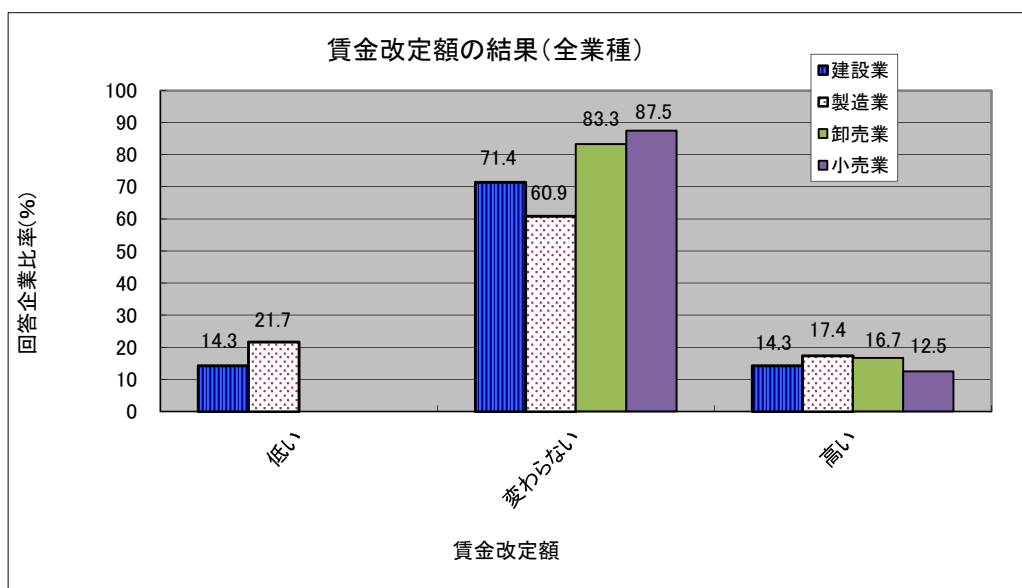
【表7 賃金加重平均改定額】

賃金加重平均改定額	¥4,351
-----------	--------

※従業員規模に合わせた重みを付加した平均値

◇比較増減昨年対比

各企業毎の平成29年実績との比較では、全業種において「昨年と変わらない」支給が多数を占めた。



【表8 平均賃金改定率の増減前年対比(業種別)】

数字は件数、()内は%

	低い	変わらない	高い	合計
建設業	2(14.3)	10(71.4)	2(14.3)	14(100)
製造業	5(21.7)	14(60.9)	4(17.4)	23(100)
卸売業	-	5(83.3)	1(16.7)	6(100)
小売業	-	7(87.5)	1(12.5)	8(100)
合計	7(13.7)	36(70.6)	8(15.7)	51(100)

【表9 平均賃金改定率の増減前年対比(規模別)】

数字は件数、()内は%

	低い	変わらない	高い	合計
1～9名	3(20.0)	11(73.3)	1(6.7)	15(100)
10～19名	-	6(66.7)	3(33.3)	9(100)
20～49名	2(13.3)	11(73.3)	2(13.3)	15(100)
50～99名	1(25.0)	3(75.0)	-	4(100)
100名以上	1(12.5)	5(62.5)	2(25.0)	8(100)
合計	7(13.7)	36(70.6)	8(15.7)	51(100)

◇春季賃金改定からみた労務動向

【建設業】

- ・賃金改定は7月のため現在未定です。
- ・求人が厳しいです。

【製造業】

- ・賃金改定は前年を下回ったが、年間休日を増加させ実質的に大幅な労働条件の改定となった。
- ・働き方改革により長時間勤務を禁ずる方向に行く。そうなると現状のサラリーをキープすることができなくなるのでは？

【小売業】

- ・市の財政が厳しいので響いています。